



「地域共生社会」の実現に向けた シニア世代への期待

私ども社会福祉協議会は、すべての人が生きがいや役割をもち、助け合いながら、自分らしく活躍できる「福祉のまちづくり」を進めています。

しかしながら、人口減少・少子高齢化・ライフスタイルの多様化、デジタル化などを背景に、地域のつながりが弱まり、社会的孤立、担い手不足、防災機能の低下などといった深刻な問題を引き起こしています。

こうした状況にあって、シニアの皆様にはこれまでの経験や知識、行動力をぜひ地域の中で活かしていただきますとともに、豊かなシニアライフをお送りいただきますようご祈念申し上げます。



社会福祉法人
福井県社会福祉協議会
会長 清水 則明



福井県 動物愛護センター
センター長 朝倉 裕樹氏

近年、ペットを飼う高齢者が増えてきています。動物との生活は心身に良い影響を与えますが、一方で、高齢の飼い主が様々な理由からペットの世話を続けられなくなる問題も発生しています。今回は高齢者とペットの関わり方について福井県動物愛護センターの朝倉センター長にお聞きしました。

ペットを飼う前にチェック!

- ☐ ペットの世話を毎日時間をかけられますか?
・ペットの世話に休日はありません。
- ☐ ペットを飼える住まいですか?
・賃貸の場合は契約内容を確認しましょう。
- ☐ 世話をする体力や、飼い続けるお金はありますか?
・フード代だけでなく、動物病院の費用などもかかります。

知
っ
て
情
報

福祉人

ふくゆうじん 175号

発行：(福)福井県社会福祉協議会

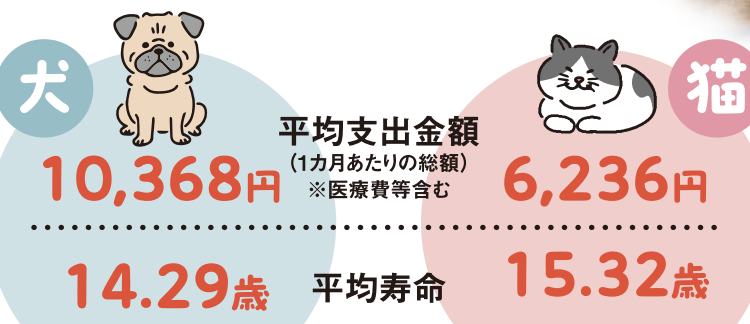
癒しや運動不足解消にも
つながるペットとの暮らし

皆さんも「アニマルセラピー」という言葉を聞いたことがあるのではないのでしょうか？
「アニマルセラピー」とは「人と動物が関わることによる、心理的、社会的、身体的な効果を期待する行為」と定義されています。



実際に動物が好きな高齢者と動物とのふれあい活動で期待される効果として、ペットが犬の場合、身体的には活動(歩行)量の増加や緊張(血圧)の低減、心理的には抑うつ程度の低下、ストレス緩和、不安の解消、コミュニケーションにおいても笑顔やうなずきなど、非言語的コミュニケーションの増加が報告されています。

◎支出総額と平均寿命の目安(1頭飼育者の場合)



「動物は好きだけど、ペットを迎える自信がない」という方には、「飼う」という選択肢だけでなく、セラピー犬の訪問や地域の動物ふれあい活動、ドッグカフェや猫カフェの利用など、無理のない方法もあります。当センターでも保護した子猫に2時間おきにミルクを与える「ミルクボランティア」や、譲渡に向けて人馴れさせるための「社会化ボランティア」を募集していますので、興味のある方はぜひお問い合わせください。

相談先やふれあえる場を持つことも大切

「命を飼う責任」を全うできる備えを

ペットと暮らす高齢者が増える反面、「膝が痛くて散歩ができない」「急に入院することになった」「年金暮らしでペットにかかる費用が苦しい」など、様々な理由でペットを最後まで飼うことができない方も増加しています。

また、新たにペットを迎える場合でも、高齢者には成犬・成猫から飼いがやすくおススメです。当センターでも譲渡可能な犬や猫は随時ホームページで公示していますし、毎月第2土曜日、第3日曜日(嶺南支所は月初)には予約制で譲渡会も行っていますので、こちらもぜひご利用ください。

困ったときに備えて

ペットホテルやペットシッターを調べておきましょう!

事前に探して、試しに短期間で利用してみましょう。長期間預けたい時は早めに相談しましょう。

かかりつけの動物病院を作りましょう!

普段から検診などで信頼関係を築きましょう。一時的な預かりが出来る場合もあります。

ペットを清潔にしましょう!

- ノミやダニの予防
- ワクチン接種
- 寄生虫の駆除

自分の健康にも大きく関わります。

基本的なしつけをしましょう!

- トイレのしつけ
- ケージの中でおとなしくできる

預けた先で迷惑にならないように、また災害でペットを連れて避難した時にも必要です。

ペットの健康手帳を作りましょう!

ワクチン接種の記録などをつけておきましょう。緊急のときにも役に立ちます。

きいて! みて! TRY!

1月~3月

TRY 「ちょこっと就労」就職面談会

参加費無料

(申込不要、入退場自由) 年齢・性別不問! シニア・主婦・学生さん大歓迎!

「ちょこっと就労」とは、福祉施設における補助的な仕事(配膳、掃除、調理、送迎など)です。特別な資格や経験は必要なく、勤務時間も1回2~4時間、週2~4回程度なので、あなたのライフスタイルに合わせた働き方ができます。就職面談会では、施設の採用担当者等と「ちょこっと就労」の仕事について詳しい話が聞けます。

	福井	坂井・あわら	奥越	丹南	二州	若狭
日時	2/27(金)	3/5(木)	3/9(月)	3/11(水)	3/3(火)	2/25(水)
会場	ラブリートナートエルバ 2F エルバホール (坂井市大和田2-1212)	ハートピア香江 2F YURI情報室 (坂井市香江町香江大東1-15-22)	勝山サンプラザ 2F シビイホール (勝山市元町1-7-28)	武生シビイ 2F シビイホール (越前市新町7-8)	敦賀市 栗野公民館 3F 小ホール (敦賀市栗名53-19)	ハローワーク 小浜 3F 会議室 (小浜市後瀬町7-10)

《お申込み・お問合せ先》 福井県福祉人材センター
Tel.0776-28-3180 Eメール:jinzai-center@f-shakyo.or.jp
※福井県福祉人材センターは、福井県社会福祉協議会が運営する無料職業紹介所です。

みて ふむふむいっぱいラジカフェ特別企画公演 「人生に効く脳科学」参加者募集!

参加費無料

【日時】令和8年3月4日(水) 13:15~14:15(開場12:30)

【講師】株式会社 感性リサーチ

代表取締役 黒川 伊保子氏

【演題】「人生に効く脳科学」

毎日をもっと楽しくするための言葉や
コミュニケーションの話題を対談形式でおおくりします!

【会場】トラスグリーンホール (福井市高柳2-1206)

【定員】100名

【申込方法】

必要事項をご記入の上、令和8年2月25日(水)までに、
郵送、FAXまたはEメール等にて、下記事務局まで
お申し込みください。
また、右記のフォームからお申込みいただけます。



《お問合せ・申込先》
福井県すこやか長寿センター (福井県社会福祉協議会 地域福祉課内)
Tel.0776-24-2433 Fax.0776-24-0041
Eメール:sukoyaka@f-shakyo.or.jp

きいて ふむふむいっぱいラジカフェ ふむふむいっぱいラジカフェ

「ふむふむいっぱい ラジカフェ」は、全国で活躍する著名人、福井で頑張っている人、さまざまな知見を持つ専門家など、多彩なゲストが登場し、楽しいトークを繰り広げる番組です。

一杯のコーヒーを楽しむ時間に、「ふむふむいっぱい ラジカフェ」を聞きませんか?
FBCラジオ(嶺北AM864kHz/FM94.6MHz・嶺南FM93.6MHz)
毎週日曜日7:30~8:00放送(毎週土曜日17:15~17:45再放送)

※これまでの放送はFBCホームページからも

お聞きいただけます!

詳細は、二次元コード先のホームページをご覧ください。



【FBCi FBCラジオ】

放送日	テーマ	ゲスト
1月	18日 心トキメク いちご作り①	ICHIGOOJ株式会社 代表取締役
	25日 心トキメク いちご作り②	池田 天瑠氏(いけだ てる)
2月	1日 映画に関わる文化を後押しする①	映画プロデューサー・ ふくい文化創造センター・アーツ カウンシル部門ディレクター
	8日 映画に関わる文化を後押しする②	渡邊 一孝氏(わたなべ かずたか)

【リスナー登録】

随時、リスナー登録を受け付けています。登録料は無料です。
ご登録いただくと、番組オリジナルグッズをプレゼントするほか、番組にメッセージをお寄せいただいた方の中から、毎月抽選で2名の方に素敵なプレゼントを準備しています。

住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ、郵送、メールにてお送りください。二次元コード先のフォームからも登録等いただけます!

《お問合せ・申込先》

福井県すこやか長寿センター (福井県社会福祉協議会 地域福祉課内)
Tel.0776-24-2433 Fax.0776-24-0041
Eメール:sukoyaka@f-shakyo.or.jp

【リスナー登録】



【メッセージ】



活動レポート

子供たちと一緒に楽しみながら活動中 ボランティア推進員(おおい町)

おおい町社会福祉協議会では町内の子どもたちを対象に、福祉体験やボランティア活動を通して人との触れ合いの大切さや思いやりの心を育ててもらうことを目的に『ボランティア塾』を実施しています。その際、運営のお手伝いとして、毎月1回ボランティア推進員が活動しています。子どもたちから元気をもらい、今後も世代を超えた交流を大切にしながら活動を継続していきたいです。



まずは地域に出て手話を知ってもらおう活動から 松岡手話サークル「友情」(永平寺町)

ろう者も聴者も難聴者も共に手をつなぎ、手話でふれあいが出来る町づくりをめざして、昭和57年から活動を続けています。手話は、手だけでなく表情や体の動きでも語る、とても豊かな言葉です。小学校の福祉授業や文化祭、公民館での発表、町内のお祭りでは手話でたこ焼きを売るなど、様々な活動に取り組んでいます。最近は小学生も加わり、手話ラジオ体操や紙芝居も披露しています。

